

会 議 録 【 要 旨 】

名称	令和８年度 弘前市ゆき対策専門会議	
開催年月日	令和８年８月３１日(月)	
開始・終了時刻	９時３０分 から １２時００分	
開催場所	弘前市役所防災会議室 市民防災館３階	
出席団体等 (順不同)	弘前市町会連合会 弘前地区女性会 社会福祉法人弘前市社会福祉協議会 弘前市民生委員児童委員協議会 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター 公益社団法人弘前観光コンベンション協会 弘前商工会議所 弘南バス株式会社 弘前建設業協会 弘前市流雪溝利用管理組合連絡協議会 ひろさき健幸増進リーダー会 弘前学院大学社会福祉学部社会福祉学科 弘前市市民生活部 弘前市福祉部 弘前市健康こども部 弘前市教育委員会 弘前市総務部危機管理局 国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所 弘前国道維持出張所 青森県中南県土整備事務所	会長 小山 三千雄 代表 蛭名 京子 副代表 山本 喜久 事務局長 安田 昭弘 会長 大湯 恵津子 副センター長 高橋 俊哉 専務理事 白戸 孝之 専務理事 土岐 俊二 乗合部係長 佐藤 尚樹 理事 相馬 正 会長 中村 清 副会長 佐藤 圭紅 教授 高橋 和幸 部長 佐藤 真紀 部長 秋田 美織 部長 山内 恒 教育総務課長 福士 太郎 学校整備課長 安田 広記 局長 千葉 裕朗 所長 高山 毅 所長 村田 尚樹 道路施設課長 杉田 伸一
事務局	弘前市建設部	部長 木村 和彦 道路維持課長 竹村 隆史 同課長補佐 笹森 康司 同主幹兼係長 福士 龍也 同総括主査 小山内 崇 同総括主査 穂元 晋 同課主査 工藤 直之 同技師 安田 直充 同主事 中嶋 覚 同技師 村元 貴紀 同技師 浜谷 海幸
会議資料の名称	・弘前市の令和７年度除排雪状況について ・弘前市の除排雪について ・国の除排雪について ・県の除排雪について	
会議内容 (概要)	１．開会 ２．市長あいさつ ３．説明 ４．意見交換 ５．閉会	

※発言者敬称略

司会	本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から、令和8年度 弘前市ゆき対策専門会議を開会いたします。 次第2 市長あいさつ(省略) 次第3 説明(省略) それでは、次第4 意見交換に入らせていただきます。なお、意見交換の進行役につきましては、弘前学院大学社会福祉学部社会福祉学科の高橋教授にお願いしたいと考えておりますが、ご意見ある方はいらっしゃいますか。
弘前学院大学 高橋	ご指名ですので、しばらくの間、進行役を務めさせていただきます。 市町会連合会様 お願いいたします。
町会連合会 小山	1. 去年は、道路除排雪がドカ雪で追いつかず、大通りなどの幹線道路でも、これまでに経験したことがない大渋滞が起きました。気象変動の影響と思いますが、最近は一度に多量の雪が降ることが多くなっております。大雪の時はどうしても幹線道路を通ることが多くなりますが、救急車や消防車、バスなども幹線道路を通ります。去年のように大渋滞だと命に関わる事態にもなりかねませんので、今冬は昨冬のように幹線道路が渋滞しないように、除排雪を早めに対応してほしいと思います。また、災害級のドカ雪の際は、通行止めをするなど、緊急的な対応も必要であると思います。 2. 各町会では、一人暮らし、寝たきり、高齢者、身体障がい者などの家庭の間口除雪をしております。ただし、対象となっている方はごく一部で、まだまだたくさんの方が間口除雪を必要とされていることと思います。間口の寄せ雪については、町会で片付けてくれるのかという要望が町会長に多数届きます。町会としては、住民が暮らしやすい生活を送ってほしいとの思いから、何とか懸命に対応しているところですが、支援される人も、支援する人も高齢化しております。以前のように支援できる状況ではなくなっていますので、支援をする方される方の今後の対応を考えていただきたいと思います。 3. 狭小道路の除雪が行き届いていないように感じます。除雪が入らないような道路も通勤者が多くいますので、非常時においては対応していただきたいと思います。
弘前学院大学 高橋	ありがとうございました。 では、事務局お願いします。
事務局	現在市では、昨冬の豪雪を受けまして、今冬に向けた取り組みを検討している最中でございます。特に病院や消防署前などの道路は、重要な路線と認識しており、重点的な対策が必要と考えております。 一般除雪が入らないような道路(道路幅員が4メートル以下)は、小路除雪路線になっており、一般除雪に対しては少ない回数ですけれども、小路除雪もしくは小路排雪を行っております。 幹線道路など交通量が多い道路から優先して除排雪を行っておりますので、市民の皆様にはご不便をおかけしますが、早め早めの対応をして参りたい

	いと思います。また、地域住民を対象にした雪対策市民会議を今年度 11 月から 12 月に開催を予定しておりますので、そこで個別の案件を聞き取りさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。
弘前学院大学 高橋	ありがとうございます。 では、福祉部お願いいたします。
弘前市福祉部	日頃から高齢者や障がい者など、自力での除雪が困難な世帯を支えるためにご尽力いただいておりますことに、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。 市といたしましては、支援する側、支援を受ける側双方で高齢化が進み、町会における担い手の確保、また除雪後の寄せ雪や間口除雪などの対応が、地域にとって大変大きな負担となっていることを私どもも受けとめているところでございます。こうした地域の負担を少しでも軽減し、除雪が困難な方への支援を今後も継続していくため、まずは社会福祉協議会が実施する除雪支援事業に係る補助金を拡充する予定としております。 今後も社会福祉協議会と連携しながら、地域で支え合う仕組みの維持確保に努めて参りますので、よろしくお願いいたします。
弘前学院大学 高橋	ありがとうございます。 弘前地区女性会様お願いいたします。
弘前地区女性会 蛭名	1. 昨冬は、車道の拡幅除雪によって吹き上げられた雪により、歩道幅員は狭くなり、歩行者の通勤通学および通院等が困難をきわめました。 2. 間口の寄せ雪処理は、高齢化が進むことで、より深刻さを増す問題になっております。 3. 交差点の角に雪が山積みになっており、横断歩道を渡る際に周囲が見づらく、バス停留所も見えません。 4. 流雪溝の劣化している部分は誰が直すのか。市で点検するのか、それとも町内単位や区域単位で点検するべきなのか。 5. 物価高ですので、スノーダンプやスコップ、融雪剤の購入などに使える雪国特別クーポン券のようなものがあれば助かります。
弘前学院大学 高橋	ありがとうございます。 では、事務局お願いいたします。
事務局	現在市では、昨冬の豪雪を受け、抜本的な雪対策の見直しを行っているところです。ご指摘のあった昨冬の状況は市でも把握しており、病院や消防署前などの道路は、重要な路線と認識しており、重点的な対策が必要と考えております。 続いて寄せ雪についてですが、除雪によって生じる寄せ雪は時間的制限から各家庭にお願いしております。今後、DX 化による除雪時間の短縮など、作業時間に余裕が生じることができれば、寄せ雪を減らすことも可能となるかもしれませんが、現時点では寄せ雪を無くすことはできませんので、ご理解とご協力をお願いします。 交差点の雪山については、除雪作業上どうしても発生してしまうものです。そのすべてを取り除くことは難しい状況ですが、通学路や病院周辺などは重要な路線であると認識し、重点的な対策が必要であると考えております。場所によっては改善する場合がありますので、個別具体的な箇所がありましたら、道路維持課にご相談ください。

弘前学院大学 高橋	市民生活部お願いいたします。
弘前市市民生活部	スノーダンプやスコップは冬の生活に欠かせない必需品ではありますが、現時点では特別クーポンのようなものは検討しておりません。 しかし、現在物価高への対策として、オール弘前プレミアム商品券がござい ます。こちらは、12月31日まで使用できますので、冬に備えて、スコップや スノーダンプを購入することもできます。よろしくお願いいたします。
弘前学院大学 高橋	福祉部お願いいたします。
弘前市福祉部	社会福祉協議会に対する助成金を拡充するというお話をさせていただきました。 こちらの補助金は、除雪支援事業に使う物資という制限はございます が、スノーダンプ等の機材の購入にもご活用いただけますので、ぜひご利用 いただければと思います。
弘前学院大学 高橋	弘前市社会福祉協議会様 お願いいたします。
弘前市社会福祉協議 会 安田	社会福祉協議会が実施する除雪支援事業は、1人で除雪するのがなかなか 難しい方の自宅間口の除雪を地域住民のボランティアの力を借りて実施す るという事業を長年やってきております。 実施する地区社協に対しては、弘前社協の方から助成金を交付し、その助 成金の一部は、市からの補助金をいただきながら進めております。この除雪 支援事業を支えるボランティアの方、地域の住民の方、皆さん高齢の方が多 く、なかなか大変な状況となっております。さらに、昨年一昨年のような大雪 になると、皆さんご自宅を除雪した後に、支援する家庭の除雪をしなければ いけませんので、なかなか手が回らないという状況になっております。そのよ うな状況であっても、高齢者のひとり暮らしや高齢者世帯が増えてますの で、ニーズは年々増えております。しかし、実施するボランティアの方が年々 減少しており、全体の実施率は少しずつ下がってきていると感じております。 弘前社会福祉協議会としては、何とか地域福祉の一環としての活動を継続 していきたいというふうに考えております。 このような中で、市として補助金による事業への支援の継続をお願いしたい と思います。また、可能な範囲で拡充をお願いしたいと思っております。
弘前学院大学 高橋	福祉部お願いいたします。
弘前市福祉部	補助金の拡充につきましては先ほど述べた通りですが、これに加えて、市の ボランティアセンターの登録者を地区社協の取り組みに紹介するということは 実施してきたところですが、その数は非常に限定的な状況にありますので、 今後は市民生活部と連携しながら、さらにこの人数を増やしていけないか検 討してまいります。
弘前学院大学 高橋	弘前市民生委員児童委員協議会様 お願いいたします。
民生委員児童委員協 議会 大湯	冬期間、道路維持課へ1日5回電話しても通じなかったという事がありまし た。聞くところによると3人で対応してるとのことですので、足りないんじゃない

事務局	いかと感じてます。高齢者の人が電話ですぐ相談できるように高齢者のことを考えて早急に対応していただきたいと思います。 除雪に関することは道路維持課へ、農道除雪に関することは農村整備課へご連絡ください。なお、昨年より新たに市民窓口を防災課に設置しております。雪に関する困りごとがありましたら、こちらへご連絡ください。詳細は、広報等でも周知しておりますのでご確認ください。
弘前学院大学 高橋	弘南バス株式会社様 お願いいたします。
弘南バス 佐藤	昨年一昨年の大雪の影響で、路線バスのかんがりの便が迂回や運休となりました。そこで見えてきた問題点を述べさせていただきたいと思います。 1. 除排雪の日程を明確にさせていただきたいと思います。インターネット上で公開されているマップに明示されているようですが、事前に計画されている作業以外は反映されておりません。緊急的な対応についても同様であるため、気づかないうちに完了していた事例が数多くありました。 2. 除排雪が完了した路線であっても、バス車両が通行できる幅が確保されていない路線が多数確認されました。事前にバスやトラックが通行できる幅員を把握して作業していただきたいと思います。 3. 除排雪の作業時間について、基本的に夜間になると思いますが、通行止めにするなどして、日中作業もしていただきたいと思います。利用者の方々のためにも、路線バスを一日でも早く通常運行に戻したいと考えておりますので、1日でも早く道路状況が改善できるよう対策して欲しいと思います。 4. 交差点の雪山による視認不良への対策をして欲しいと思います。バスの乗務員から歩行者が見えづらいとの意見が多数寄せられておりました。また、交差点付近が渋滞の原因になっていることも多く確認されておりましたので、重点的に対応していただければと思います。
弘前学院大学 高橋	ありがとうございます。 では、事務局お願いいたします。
事務局	バス路線は、優先的に拡幅作業や排雪作業を行っておりますが、昨冬は急激な降雪により対応できなかったところがございます。バス路線等の交通量の多い幹線道路等は重要な路線であると認識し、重点的な対応が必要と考えております。 除排雪作業の日中作業ですが、交通量を考慮し、道路状況によっては日中にも実施しておりますが、重点的な対策が必要な個所につきましては、対応を拡大して実施して参りたいと思います。 交差点のボトルネック、雪山による歩行者の視認が困難であるとのことに関して、一部現場対応が追い付かないこともあったことを確認しております。抜本的な雪対策の見直しの中で検討してまいります。
弘前学院大学 高橋	弘前建設業協会様 お願いいたします。
弘前建設業協会 相馬	除雪出動基準の大幅な変更が必要であると考えます。現在、市の出動基準は降雪 10 センチ以上または 10 センチ以上の降雪が見込まれる場合となっておりますが、常に道路表面を露出するために、10 センチ以上から 5 セン

	チ以上に変えていただけないか検討をお願いします。常に道路表面を露出させることにより、悪路を回避し、寄せ雪の量を減らすことで寄せ雪処理の負担軽減が図られると考えます。しかし、除雪回数が増えると同時に除雪費の増大、また、市民の方々の理解が必要になってきます。
事務局	出動基準については、県も市も降雪 10cm以上としており、基準に違いはありません。しかし、県はその後の降雪や路面状況により 5cm でも出動可能としているのに対して、市は降雪状況によっては、降雪 8cm程度でも出動可能としております。
弘前学院大学 高橋	弘前市の流雪溝管理組合連絡協議会様 お願いいたします。
流雪溝利用管理組合 連絡協議会 中村	近隣の空き地や空き家の対策はどのようにになっているのか確認したいと思います。また、県道と市道の交差部の雪山処理について、重点的に対応お願いしたいと思います。
事務局	空き家については私有財産であることから、市が所有者にかわってその管理を行うことはしていません。 また、所有者等に対して管理を強制するものでもないため、市では空き家法に基づき、所有者等に対して指導や勧告等を行っております。 ただし、屋根からの落雪等により道路が閉塞した場合でも、所有者が不明である場合は、空き家対策係の職員が人力で除雪を行うこともあります。 このような状況もご理解いただければと思います。 県道と市道が重なる交差点付近の除雪後の雪の塊に関しては、県も市も基本的に大きな塊は生じないように実施しているところですが、除雪作業時に雪の塊を発見した際は、県、市問わず発見した業者が対応するよう、県とも連携してまいりたいと思います。
弘前学院大学 高橋	ひろさき健幸増進リーダー会様 お願いいたします。
ひろさき健幸増進リーダー会 佐藤	私たちは主に高齢者の方たちに向けての体操教室を実施させていただいておりますが、冬道が怖いといった声が一番多いように感じます。ケガや事故のリスクが高いため冬場の参加率が悪くなっているという現状です。
事務局	ご意見を参考にさせていただきます。
弘前学院大学 高橋	弘前大学地域創生本部ボランティアセンター様 お願いいたします。
弘前大学地域創生本部ボランティアセンター 高橋	空き地や空き家、アパートが除雪のボトルネックになってるような感じますが、除雪に関するルールなどはありますか。
事務局	現在行っている取り組みについてですが、アパート等の住人の方が道路へ雪を出している事案が何度か確認されています。 そういった場合は、雪出し防止のチラシを啓発活動として配布しております。
弘前学院大学 高橋	弘前観光コンベンション協会様 お願いいたします。

弘前観光コンベンション協会 白戸	冬季観光推進に当たり懸念されることとして、お客様の移動手段となるのは、自家用車やレンタカー、徒歩での移動になるため、観光スポットへのアクセス道路の除排雪や歩道幅員の確保といった除排雪のさらなる強化が必要と感じておりますので、引き続きお願いしたいと思っております。 先ほど除雪の出動基準のお話がありましたが、排雪の目安というのはあるのでしょうか。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。 排雪については明確な基準はございません。著しい交通障害の可能性がある場合に実施するという体制になっております。
弘前学院大学 高橋	弘前商工会議所様 お願いいたします。
弘前商工会議所 土岐	一昨年に続き昨冬においても、通勤通学の時間帯も含め、市内で渋滞が発生し、バスも動かなくなり、配達物流も滞ってしまうという状況でありました。しかし、国や県を含めて前向きな対応が多く感じられましたので、今冬は期待したいと思います。
弘前学院大学 高橋	ありがとうございます。 それでは、本日ご参加いただいた各委員のみなさまから一通り意見を頂戴することができましたので、最後に私の方からまとめさせていただければと思います。 皆様からの意見の中で最も多かったものが道路除雪についてでした。 除排雪が追い付かず渋滞や交通障害が発生し、幹線道路だけでなく、生活道路の除雪の遅れも深刻であり、救急車等の緊急車両にも影響が出る恐れがあるとの心配の声も上がっていました。しかし、道路除雪によって発生する寄せ雪処理も問題視され、高齢化の進行に伴い、ボランティアや町会等の除雪支援側の限界も近いという声もありました。また、間口だけでなく、交差点や道路脇の雪山処理を含めた排雪作業の遅れも問題となっているため、時間帯にとらわれず除排雪作業を行ってほしいとの要望が多くみられました。 除雪は行政と地域が協力して進めるべき重要なインフラであり、今後の雪対策は従来の枠組みにとらわれず、福祉、安全、交通、地域力を横断した総合的な視点が求められます。効率的に除雪をする上でも、改善のポイントをこの会議等でしっかりと拾い上げていただければと考えております。 それでは、事務局に進行をお返しします。
司会	それでは本日予定していた次第はすべて終了いたしました。 以上をもちまして、令和8年度弘前市ゆき対策専門会議を終了とさせていただきます。 今後の雪対策につきまして、安全で安心な市民生活を確保できるよう実施して参りますので、皆様におかれましても引き続きご理解とご協力をお願いいたします。本日は長時間にわたりご参加いただき、ありがとうございました。